

# 令和2年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

## 第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

### 2. 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人 印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づき千葉県知事の設定許可を受けて発足したが、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)」の施行に伴い、千葉県知事に公益財団法人への移行を申請し、平成26年3月19日の認定を経て平成26年4月1日に公益財団法人 印旛沼環境基金に移行した。

## 第2 事業の実施状況

### 1. 事業の概要

令和2年度の事業は、令和2年2月5日開催の第2回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2. 事業の内容

#### (1) 印旛沼及び流域における調査研究

##### ① 水質調査結果及び各種環境情報等の取りまとめ

令和元年度に千葉県が実施した水質汚濁防止法に基づく常時監視及び印旛沼流域の13市町がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を収集し、取りまとめた。

また、流城市町が行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を広く収集するとともに、関係機関等から水質浄化、環境保全関連の資料を収集し、取りまとめた。

これらの結果については、令和元年度にとりまとめた平成30年度の結果とともに「令和元・2年版印旛沼白書」に掲載した。

##### ② 外来生物等に関する調査研究

印旛沼及び周辺の生態系への影響が危惧される「特定外来生物」に指定されている水生植物のナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、及び在来のオニビシの生息状況調査を市民団体の協力を得て実施した。

調査結果は冊子に取りまとめ、ホームページで公表するとともに、沼や周辺の環境保全対策の資料として、県、流域13市町、及び関係機関に配布した。

また、今後の調査に活用するため、ドローンを新たに配備し、基礎知識の習得・規制等の情報収集・操縦訓練を行うとともに、沼の周囲を踏査し調査等のためのドローン離発着適地を選定した。

## (2) 講習・学習会及び観察会

### ① 講習・学習会等の講師派遣

関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
R 2. 9. 16(水)	佐倉市萩山新田地先 中央排水路	印旛沼の概況及び印旛 沼環境基金の取組	(一社) 地域環境資源センター (生き物調査指導者養成研修 受講者・関係者 27 名)
R 2. 9. 28(月)	佐倉ふるさと広場 管理棟学習室	水質検査実習	八千代市立八千代台東小学校 (4年生3クラス 96名： 1グループ 16名×6回)

### ② 観光船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

令和2年7月21日(火)に開催を予定した印旛沼観察会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送った。

### ③ 親子で学ぼう印旛沼(共催:各市町)

令和2年5～8月に開催を予定した5市町(佐倉市、酒々井町、四街道市、印西市、八千代市)それぞれとの共催による親子を対象とした学習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いずれも開催を見送った。

### ④ 印旛沼公開講座(共催:佐倉市)

令和2年11～12月に開催を予定した全3回の講座については、会場における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が困難なことから、開催を延期し令和3年度に同内容で行うこととした。

## (3) 啓発・宣伝

### ① ホームページの公開

印旛沼環境基金の活動や印旛沼及び流域の環境保全等に係る情報を広く流域の住民に伝えることを目的に公開しているインターネットホームページを活用し、随時各種情報を発信した。また、ホームページ内の「印旛沼と流域の状況」について、最新の情報に更新した。

### ② 水辺の風景画コンクール

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒の水環境への関心を醸成するため毎年度行っているコンクールについては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う夏休み期間の大幅な短縮や各校の負担軽減に配慮し、開催を見送った。

### ③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民に印旛沼の現状と重要性の理解を深めてもらえるよう、当基金主催の公開講座・助成事業成果報告会や県・市町開催の各種行事等において行っている当基金発行の刊行物等の配布については、予定していた行事の多くは中止となったが、開催された一部の行事及び関係団体の窓口等において行った。

#### ④ 刊行物等の編集・発行

以下のとおり刊行物を編集し発行した。なお、印旛沼白書については、流域内の図書館・公民館等へも配布し閲覧に供した。

発行日	刊行物名	形式	発行部数	備考
R2. 8. 28	雑誌「印旛沼」(第41号)	A4判8頁	4,000	委託印刷
R3. 2. 26	令和元・2年版 印旛沼白書	A5判199頁	250	委託印刷
R3. 2. 26	印旛沼のはなし (「印旛沼白書」から抜粋)	A5判90頁	4,000	委託印刷

#### (4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中学校、高等学校、大学及びNPO法人を含む一般市民団体等を対象に、その活動を支援するため交付している助成金については、以下のとおり交付した。

##### ① 助成対象の団体

小学校1校、高等学校1校、NPO法人を含む一般市民団体6団体の計8団体

##### ② 助成事業成果報告

上記助成に基づき行った各団体の諸活動の成果を共有し、団体間の情報交換と相互の連携を図るため、成果報告要旨集を作成し、当基金ホームページで公開した。

なお、助成団体が一堂に会する成果報告会は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されたため、開催を見送った。

	題 名	団 体
1	総合的な学習の時間における印旛沼の活用	八千代市立八千代台東小学校
2	印旛沼水系新川および桑納川の水質汚濁調査	千葉英和高等学校生物研究部
3	印旛沼流域に於ける里山・水環境の整備と市民啓発活動	NPO法人四街道メダカの会
4	里山保全と里山における自然観察等の活動	里山の会 ECOMO
5	印旛沼植生調査を通じ市民への情報発信	佐倉印旛沼ネットワークの会
6	若者と語り合う印旛沼	NPO法人環境パートナーシップちば
7	印旛沼流域鹿島川における環境調査を通じた社会人向け環境教育の推進(2)	NPO法人環境・地理探訪クラブ
8	印旛沼流域の湧水調査と湧水マップ作製	NPO法人水環境研究所